

意見書案第4号

北陸新幹線の敦賀大阪間の延伸計画そのものの中止を求める
意見書案を提出するについて

宇治市議会会議規則第14条第1項の規定により、見出しの議案
を別紙のとおり提出する。

令和7年3月28日提出

提出者 宇治市議会議員 宮 本 繁 夫

同 坂 本 優 子

同 山 崎 匡

同 大 河 直 幸

同 徳 永 未 来

同 谷 上 晴 彦

宇治市議会議長 松 峯 茂 様

北陸新幹線の敦賀大阪間の延伸計画そのものの中止を求める意見書

北陸新幹線の敦賀から大阪間の延伸に関し、与党のプロジェクトチームは「小浜・京都ルート」について、ルートを2案にまで絞り推進している。

このルート案は2案のいずれも宇治市を通過し、宇治市の西側の巨椋池干拓地に車両基地を建設する案となっており、宇治市においても、巨椋池の干拓地の治水機能が失われることでの防災上の問題、新幹線高架橋での地域の分断、新幹線通過による産業立地への影響などが懸念されている。

同時に、「小浜・京都ルート」の延伸計画の大部分が地下トンネルであり、地下水の枯渇や建設残土の課題など環境への影響が計り知れないことから、京都仏教会が「千年の愚行」と反対を表明するなど、白紙撤回を求める声が広がっている。

「小浜・京都ルート」については、総額5.3兆円もの巨額の費用が試算されており、自治体負担が市民生活を圧迫することとなる。

昨年6月に石川県議会が「北陸新幹線の米原ルートへの再考を求める決議」を可決するなどの動きもあるが、在来線の切り捨て、莫大な建築費をとまなう敦賀から大阪までの北陸新幹線の延伸計画そのものが多くの問題を抱えている。

整備新幹線やリニア新幹線などの「高速・大量輸送鉄道」最優先で多額の税金をつぎ込むのではなく、在来線の強化、デマンドタクシーなどの地域公共交通の充実によって、住民生活と地域社会を支えることこそが求められている。

よって、国におかれては、敦賀から大阪間の北陸新幹線の延伸計画を中止されるよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月 日

京都府宇治市議会議員 松 峯 茂

衆議院議長	額賀 福志郎 様
参議院議長	関口 昌一 様
内閣総理大臣	石破 茂 様
総務大臣	村上 誠一郎 様
財務大臣	加藤 勝信 様
国土交通大臣	中野 洋昌 様
内閣官房長官	林 芳正 様